

サラーム

平和

寒中お見舞い申し上げます

能登半島大地震の被災者、関係者の方々にお見舞い申し上げます。

日本も落ち着かないこの頃ですが、皆様お変わりないでしょうか。ガザでは年末年始も多くの犠牲者が出ているなか、パレスチナでも中東でも穏やかならぬ2024年を迎えています。



写真左(3枚): 炊き出し
上: 給水活動

Gaza

去年は多くの方々にご支援をいただき ありがとうございました。

給水活動



おかげさまで、当会では12月後半からガザ南部に拠点を作り、国連からの燃料配布も受けて支援活動を拡大しています。まず新たに、南部ラファで多くの避難者が暮らすテントが集まる場所で、炊き出しと給水活動を開始しました。炊き出しではその日に入手できる野菜を使った温かいスープを毎日大量に提供しています。

また、燃料がなくて動けなかった給水車に燃料を提供することで日々の給水活動を継続して、地域に住む数千人を支援しています。以前からの現金給付や物資配布、母子保健診療所、子ども支援の活動も継続し、約3000万円の支援ができました。爆撃の隙間をみながら、当会職員とNGOスタッフが献身的に活動しています。

現地では物資が限られているために物の値段が何倍にもなり、着の身着のままに逃げてきた人たちは現金も底をついているため、この支援は人々の命綱になっています。なおエジプトからの物資搬入については、物資搬入の許可を持つエジプトのNGOと提携して年末には荷造りが終わり、現在、順番待ちの状況です。

戦闘が始まって100日以上が過ぎたガザでは2万3000人以上が犠牲となり、人口の8割以上が家を無くしました。

連絡を取っている現地の人のほとんどが家を失い、家族を失っています。また連絡が取れないままの人たちも多く、これまで支援をしてきた子どもたちの安否を確かめることも難しい状況は残念ながら変わっていません。

当会では、現在もできるだけ生の現地情報を日本社会に伝えるための活動を続けています。当会からの新しいお知らせは、左下のQRコードなどからアクセスいただけます。



避難先のテントで心理ケアとリクリエーション

エジプトから物資搬入



ホームページ

大きな状況を変えることは難しくても、一人でも多くのガザの子どもと家族を支えるために救援活動を続けますので、本年もどうぞよろしくお見舞い申し上げます。

2024年1月

特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン